

すみれ通信 4月号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に
発信しています

(第130号)

〒 251-0032

藤沢市片瀬339-1

藤沢市医師会館

在宅医療支援センター

TEL 0466-41-9980

FAX 0466-41-9981

✉ fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp



令和8年度がスタートしました。
昨年度は在宅医療支援センターの活動にご協力いただき、ありがとうございます。
新たな気持ちで、皆様と共に成長できる1年にしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



令和7年度在宅医療支援センター活動報告①

令和7年度活動状況を2回に分けて報告いたします。

1.多職種懇談会 (延べ95名)

日程	テーマ	場所	参加数
5/31	話し合おう 入退院時の連携について	市役所	49名
11/6	～その人らしいを支えるために～ 「ACP」どう取り組んでいますか	医師会館	46名

2.多職種研修会 (延べ250名)

日程	テーマ	演者(講師)	参加数
7/24	藤沢市内の病床と役割を知ろう① ～まずは急性期病院の役割から～	湘南藤沢徳洲会病院 藤沢湘南台病院 藤沢市民病院	63名
10/2	藤沢市内の病床と役割を知ろう② ～地域包括ケア病床について～	藤沢御所見病院 湘南ホスピタル クローバーホスピタル	106名
1/22	在宅で療養されている 高齢者の急変時の対応について 考える	藤沢市 救急救命課	81名

3.市民公開講座 (延べ214名)

日程	テーマ・講師	場所	参加数
6/28	認知症の方に寄り添う在宅医療と看護 つながりクリニック 竹島望 ナースであんしん 大慈めぐみ	藤沢市 本庁舎	62名
11/9	「まだ早い」と思った瞬間が始めどき わたしの人生最終章デザイン 善行ファミリークリニック 松本孝道	善行 市民 センター	79名
1/17	最期まで自分らしい生き方 ～知って安心!在宅医療～ スマイルクリニック 田口篤	湘南台 市民 センター	73名

4.出張講座

実施回数7回 参加者合計149人



お知らせ 在宅医療支援センタースタッフの交代



退職 黒坂 由美子 (3月31日付)

採用 松本 まみ子 (4月1日付)

これまで同様よろしくお願い致します。

在宅医療の現場から



Fuji ケアセンター 中村 操

ケアマネジャーとして在宅の現場に関わる中で、私が強く感じているのは、住み慣れた家で過ごす時間の大切さです。病院や施設とは違い、在宅にはその人が長く暮らしてきた生活があります。だからこそ「在宅だからできること」「在宅だからできないこと」といった固定した考え方にとられるのではなく、その家での暮らしや、ご本人・ご家族の思いに寄り添うことが大切なのではないかと感じています。

その思いを改めて実感した出来事がありました。入院中の利用者様がお看取りに近い状態となり、「自宅に帰るなら今しかない」という状況でした。急変のリスクもあり、ご家族には迷いもありましたが、医師や看護師、訪問看護、介護サービスなど多職種で話し合い、「何とか家に帰してあげたい」という思いを共有しました。関係する職種の皆さんと連絡や調整を重ね、帰宅を実現することができました。



帰宅された直後、それまで反応が乏しかったご本人の意識が少し戻り、ご家族の呼びかけに応える様子が見られました。「帰って来られてよかったね」と声をかけるご家族の姿を見て、家という場所が持つ力の大きさを改めて感じました。



その後、「髪をきれいにカットして染めたい」というご本人とご家族の希望がありました。長く通っていた地域の美容師さんに相談したところ、「何とかやってあげたい」と快く引き受けてくださいました。訪問入浴や看護師、ヘルパーとも連携しながら調整を行い、動くことができない状態の中でもカットとカラーを実現することができました。鏡を見ることができたとき、ご本人はとても嬉しそうな表情を見せ、ご家族も「これが生きているということですね」と大変喜ばれていました。

在宅の現場では、医療や介護の専門職だけでなく、地域の方々の協力によってその人らしい生活が支えられています。現在、Fuji ケアセンターでは4名のケアマネジャーで日々情報共有を行い、それぞれの経験や視点を生かしながら支援方法を検討しています。これからも多職種や地域をつなぎながら、その方やご家族の思いを形にし、住み慣れた地域で安心して過ごせる在宅生活を支えていきたいと思っています。

